

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ&エンジン

2025年度2Q実績（前年同期比）

売上収益 
+394 億円

為替レートが円高に推移した影響はあるものの、北米向け四輪車や先進国向け二輪車の増加などにより増収


事業利益 
▲100 億円

増収はあるものの、為替レートが円高に推移した影響や増産投資に伴う固定費の増加や販売促進費の増加、米国関税政策の影響などにより減益

2025年度予想（従来予想比）

売上収益 
+400 億円

新興国向け二輪車の増加や米国パワースポーツ市場の需要が従来予想を上回って推移している状況を考慮し、見通しを引き上げ

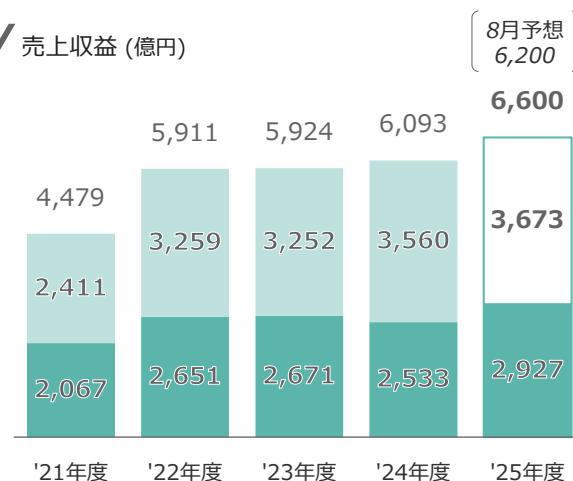
事業利益 
±0 億円

増収はあるものの、販売促進費や関税コストの増加などにより、見通しを据え置き

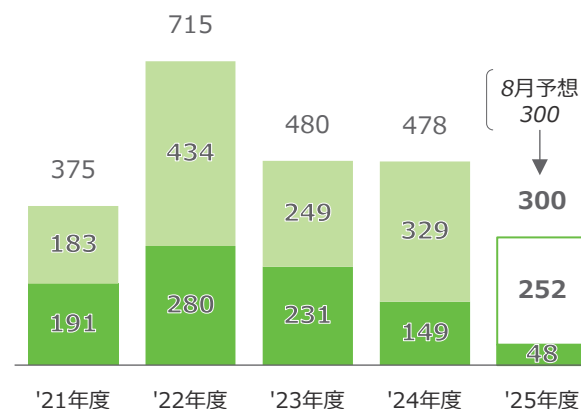
受注高（億円）

本セグメントは主として見込み生産を行っていることから、受注高については売上収益と原則同額としているため、定性情報およびグラフの掲載を省略しています

売上収益（億円）



事業利益（億円）



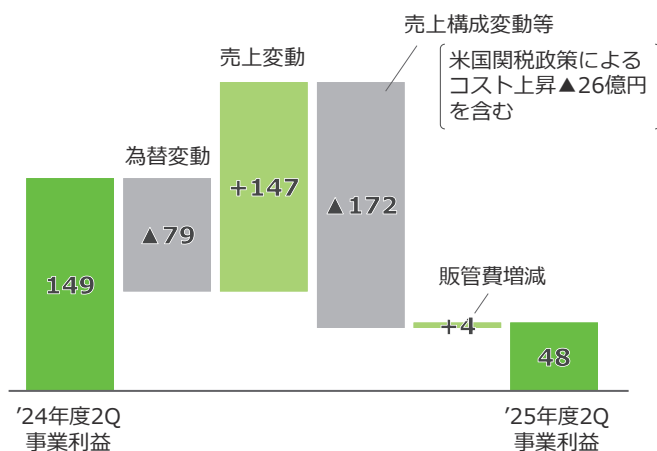
（注）グラフは濃色部が1-2Q、淡色部が3-4Qを表します

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ&エンジン

(単位：億円)

	'24年度 2Q実績	'25年度		'24年度 通期	'25年度予想				
		2Q実績	前年同期比		従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	3-4Q予想
売上収益	2,533	2,927	+ 394	6,093	6,200	6,600	+ 507	+ 400	3,673
うち 先進国二輪車	991	1,122	+ 131	2,453	2,250	2,500	+ 47	+ 250	1,378
新興国二輪車	477	480	+ 3	992	950	1,050	+ 58	+ 100	570
四輪車・PWC	608	847	+ 238	1,690	2,050	2,100	+ 410	+ 50	1,253
汎用エンジン	456	477	+ 21	955	950	950	▲ 5	-	473
事業利益	149	48	▲ 100	478	300	300	▲ 178	-	252
	[利益率]	[5.9%]		[7.9%]	[4.8%]	[4.5%]	[▲ 3.3pt]	[▲ 0.3pt]	[6.9%]

事業利益増減要因 (億円)



補足情報

地域別販売台数 (卸売)

(単位：千台)

		'24年度2Q	'25年度2Q	増減	'25年度(予)
先進国二輪車	日本	11	16	+ 5	
	北米	43	46	+ 2	
	欧州	33	35	+ 2	
	その他※	3	5	+ 1	
小計		91	104	+ 12	235
新興国二輪車	フィリピン	86	97	+ 11	
	インドネシア	12	8	▲ 4	
	中南米	5	7	+ 2	
	その他※	13	12	▲ 1	
小計		118	125	+ 7	290
四輪車・PWC	北米ほか	23	35	+ 12	85

(※) 先進国二輪車および新興国二輪車の「その他」に含まれる国または地域における前年同期比増減トレンドは以下のとおり

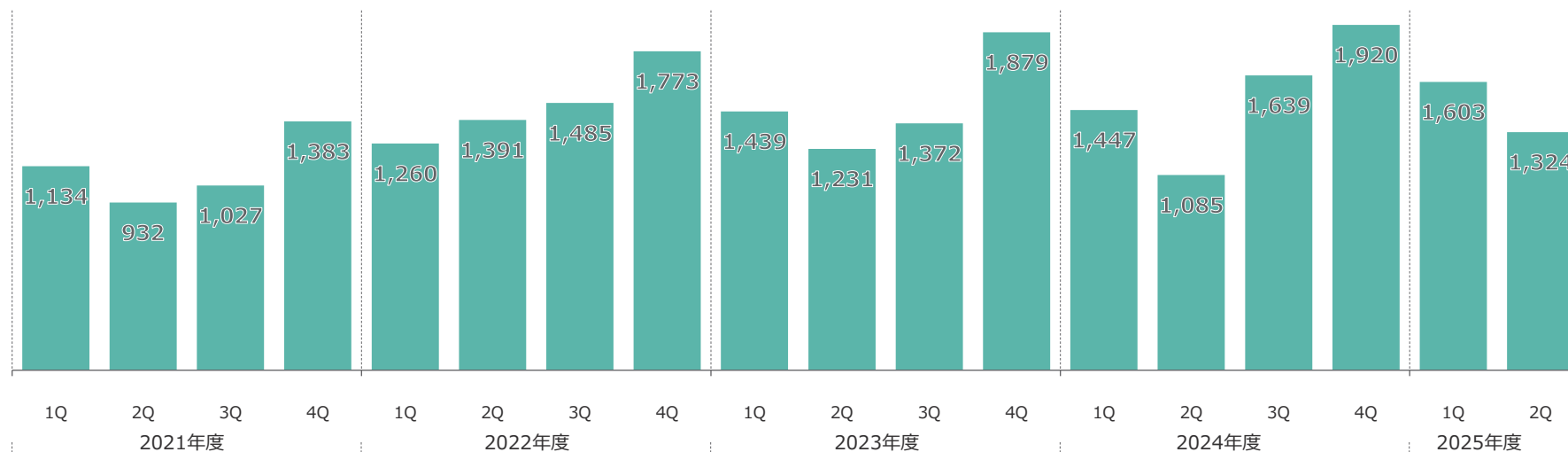
豪州：

中国：

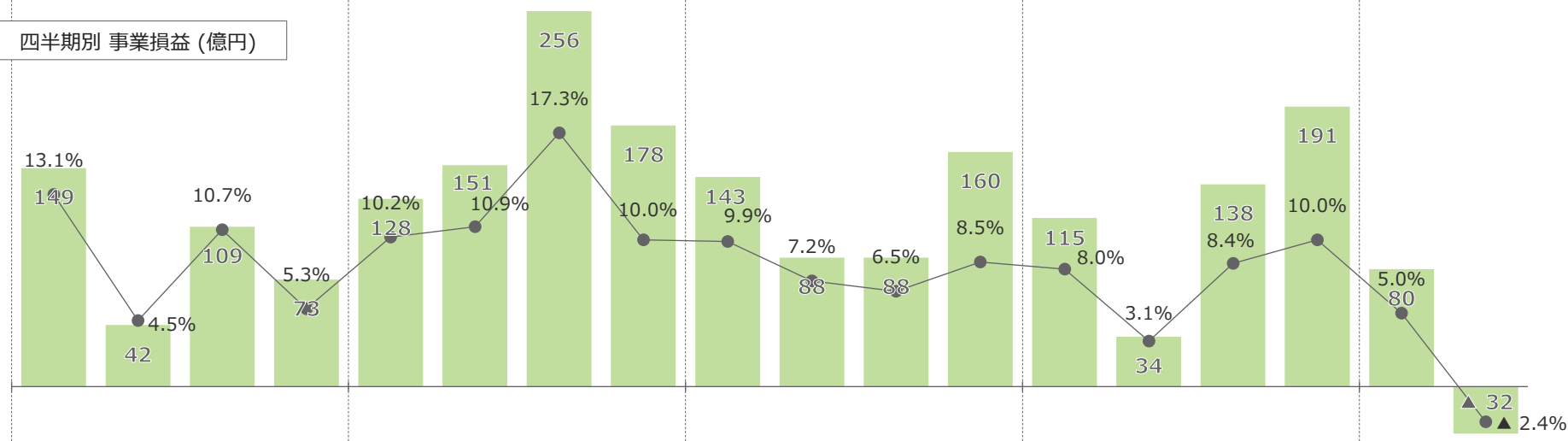
タイ：

3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ&エンジン

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



3 セグメント別詳細情報 – パワースポーツ&エンジン

事業環境・受注動向

- 米国（二輪）
 - 小売市場は軟化傾向にあるなか、当社は高いシェアを維持
- 米国（四輪）
 - 中長期的には市場成長を見込むものの、足元はローン金利や燃料価格上昇の影響を受けやすいレクリエーションモデルの販売が軟化
 - 当社は新機種の投入効果やリコール影響の回復に伴いシェアを拡大
- 米国（共通）
 - 追加関税措置が及ぼす需要減退影響等が懸念される
- 欧州
 - 新排ガス規制試行前の駆け込み販売の反動により小売市場は一時的な減少に転じるなか、当社は販促策強化や新機種効果に伴いシェアを拡大
- 東南アジア
 - 一部地域で増加傾向が見られるも、依然としてスポーツセグメントは低水準で推移

重点施策と具体的な取り組み

- ✓ **市場動向に応じた製品の供給**
 - 継続的な新機種の投入
 - 販売状況に基づき生産・販売計画を機動的に変更、製品の安定供給を実現
- ✓ **四輪ビジネスの拡大、脱炭素・電動化対応**
 - 製品競争力強化に向けた開発投資
 - 北米2工場（アメリカ/メキシコ）の効果的かつ柔軟な活用により外部環境の変化に迅速に対応
 - ツール・ド・フランス最終ステージにて水素エンジンモーターサイクルのパレードランを実施
 - 電動化を軸に幅広い選択肢を活用しカーボンニュートラル社会実現に寄与
- ✓ **DXを通じた業務改革の推進**
 - デジタル化によるアジャイルな経営の実現
 - デジタル技術活用による開発期間の短縮と効率化
- ✓ **キャッシュフローの改善**
 - 収益力強化と適正な在庫水準の維持によるフリーキャッシュフロー改善



Zシリーズの新型モデル
「Z1100/Z1100 SE」販売開始



水素エンジンモーターサイクルの
パレードラン（フランス・パリ市）